

# 委 12-1

## 第 11 回 宇宙開発委員会 (定例会議)

### 議 事 要 旨 (案)

1. 日 時 昭和 56 年 6 月 17 日 (水)  
午後 2 時～3 時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 昭和 55 年度 1～2 月期における人工衛星  
及び人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結  
果の評価について  
(2) 宇宙開発計画の見直しに関する要望事項に  
ついて  
(3) 宇宙開発計画の見直しに関する審議につい  
て
4. 資 料  
委-11-1 第 10 回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)  
委-11-2 昭和 55 年度 1～2 月期における人工衛星及び  
人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結果の評価  
について (報告)  
委-11-3 宇宙開発計画の見直しに関する要望事項  
委-11-4 宇宙開発計画の見直しに関する審議について(案)

### 5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

“ 委員

“ “

“ “

吉 謙 雅 夫

齋 藤 成 文

井 上 啓 次 郎

大 塚 茂

### 説明者

宇宙開発委員会第四部会長

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

“ 長官官房審議官

文部省学術国際局審議官

“ 宇宙科学研究所研究協力課

通商産業省機械情報産業局次長

“ 工業技術院総務部長

運輸省大臣官房審議官

“ 気象庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

“ “ 宇宙通信開発課

建設省大臣官房技術参事官

宇宙開発事業団システム計画部

佐 貫 亦 男

加 藤 泰 丸

辻 栄 一

大 崎 仁

(代理:梅枝)

野 口 正 男

小 長 啓 一

(代理:吉田)

箕 輪 哲

(代理:久佐)

小 林 哲 一

(代理:島田)

栗 山 昌 久

(代理:里見)

三 浦 一 郎

(代理:磯野)

田 中 征 治

田 中 淳 七 郎

(代理:石原)

大 野 信 幸

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長	吉村晴光
” ” 宇宙国際課長	佐藤允克
” ” 宇宙開発課	山田晴信
	他

6. 議 事

(1) 前回議事要旨の確認

第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨案（資料委-11-1）が確認された。

(2) 昭和55年度1～2月期における人工衛星及び人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結果の評価について

佐賀亦男第四部会長より、資料委-11-2に基づいて説明が行われ、とくに、ヨーウエイト放出の未確認に関連して、従来から指摘しているように外国で設計されたコンポーネントを使用する場合、設計者の立場に立つてチェックすることが重要である旨の発言があつた。吉議委員長代理より、その点さらに徹底したい旨の発言があつた後、第四部会報告書が了承された。

(3) 宇宙開発計画の見直しに関する要望事項について

事務局より、資料委-11-3に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われた。

井上：地球資源衛星1号（ERS-1）の打上げ時期について、通商産業省と科学技術庁の要望が異なっているので充分調整されたい。

吉議：要望がくい違っている点は他にあるか。

事務局：測地衛星1号（GS-1）について、運輸省及び建設省は衛星を要望しているが、科学技術庁はH-I第2段試験用ロケットに搭載するペイロードに測地実験に供しうる機能を付与することを要望している。また、運輸省及び郵政省が従来どおり、航空・海上技術衛星（AMES）の要望を出しているが、科学技術庁は昭和60年代のスピン型静止衛星の需要に対応する技術について所要の研究に着手することを要望している。

(4) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について

事務局より、資料委-11-4に基づいて説明が行われたのち、原案どおり決定された。